

科名 外科

対象疾患名 治癒切除不能な進行再発大腸癌

プロトコール名 BEV+mXELIRI<ゼローダ投与量注意>(アロカリス併用)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1 ... 8 ... 15 ... 21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓
2	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ アロカリス デキサート	0.75mg 235mg 4.95mg	30分かけて	↓
3	点滴注	側管	ペバシズマブ 生食	7.5mg/kg 100mL	医師の指示通り	↓
4	点滴注	側管	カンプト 生食	150mg/m ² 500mL	90分以上かけて	↓

内服 ゼローダ1回800mg/m²を1日2回 day1-14投与 day15-21休薬

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2-4にデカドロン朝、昼食後に1回4mg(8錠)を内服する。

<ペバシズマブ>

創傷治癒遅延の作用により術後28日以内の投与不可口

投与速度:初回90分,忍容性良好であれば60分,30分まで短縮可

投与期間中は投与回数が増えるほど高血圧の出現頻度が高くなるため定期的に血圧を測定すること。

<カンプト>

UGT1A1の遺伝子多型検査を実施し、UGT1A1*6UGT1A1*28のホモ接合体、ヘテロ接合体をもつ患者には150mg/m²に減量。(当院では安全性を考慮し、全例150mg/m²で行う。)

<ゼローダ>

ゼローダは14日間内服7日間休薬

ゼローダ1日2回内服、1回の投与量

体表面積(BSA)<1.31m²は900mg/回(3Tab)1.31m²≤BSA<1.69m²は1200mg/回(4Tab)1.69m²≤BSA<2.07m²は1500mg/回(5Tab)BSA≥2.07m²は1800mg/回(6Tab)

Modified XELIRI versus FOLFIRI, both either with or without bevacizumab, as second-line therapy for metastatic colorectal cancer (AXEPT): a multicentre, open-label, randomised, non-inferiority, phase 3 trial
Lancet Oncol 2018
ESMO Asia2017